

氏名 杉本 智暉 法科大学院等の在籍年次 2年次

---

\*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながらかき込んでいって下さい。文字数及び頁数に制限はありません。

\*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

\*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

## 1 受入事務所と滞在期間

受入事務所：One Asia Lawyers シンガポールオフィス

滞在期間：2023年8月27日～9月16日

(インターン期間は8月28日～9月15日)

## 2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

私が行った業務は大きく3種類で、①リサーチ、②記事の執筆、③英文契約書の修正です。その他、会議の出席、細かな資料の修正などの業務もありましたが、業務時間中の大部分はこの3種類の業務のどれかを行っているという感じでした。それぞれどのような内容なのか簡単にご紹介します。

まず、リサーチとは、シンガポールや日本、その他諸外国の法律や制度を調べ、それぞれの特色や違い等をまとめて書類を作成するというものです。リサーチと聞くと一見単純で面白くなさそうと思うかもしれませんが、いざはじめてみるとなかなか楽しかったです。というのも、リサーチする内容は、先生方が個人的に調べようと思っていたものであるとか、簡単に調べただけではよくわからなかったものであり、実務に非常に密接に関わっているトピックなので、こういう制度がいまホットなのか、実際の現場ではこういう形で問題になるのか、といったことを体感できます。さらに、シンガポール法は普段目にすることはほとんどない法律で、日本との違いも法律の随所に現れているの

で、それらをリサーチするのは非常に勉強になると思います。また、リサーチは先生から頼まれることが多いのですが、自分から何かリサーチするものはないか聞いてみるのもいいと思います。（私も興味のある法律分野を専門としている先生に、直接頼んで見たところ非常に面白いトピックについて調べることができました。）

次に、記事の執筆とは、事務所が出しているコラム記事や法律に関する記事の執筆のことです。一定の題材に沿って、自分で調べたり、渡された資料を読んだりして、情報を整理し、読者にわかりやすく文章にするというプロセスで作成していきます。これについてもリサーチと同様、資料を読んだり、わからないところは調べたりして、今まで触れたこともなかった法分野や外国の法律を見ることができると、非常に楽しかったです。

最後に、英文契約書の修正とは、英語で書かれた契約書の契約条項を読み、先生のオーダーに沿って契約条項を修正していくというものです。実際の英文契約書を読むことができるため、非常に貴重な経験ができると思います。英文契約書に使われる英語が難しく、また、なんとか意味を把握したとしてもどのように修正すればいいのかわからず、インターンでこなしたタスクのなかで最も難しいと個人的には思うのですが、それでも、一番実務に近いタスクだと思うので、ぜひ積極的にチャレンジしてみるといいと思います。

### 3 宿舎及びその他の生活環境について

#### 宿泊施設について

私は、事務所から歩いて約12分の場所にあるWink at Upper Cross Streetというホステルに宿泊していました。私はホステルに宿泊しましたが、個室のホテルやカプセルホテルなども事務所の近くにあるので、Booking.comなどで一度調べてみてください。ホステルのメリットとしては、ホテルに比べ安価であるという点です。デメリットとしては、基本的に他の旅行者と相部屋なため、多少生活音が聞こえるという点、トイレ、シャワーが共用であるため、譲り合って使わなければならない点、などがあるかなと思います。ただ、個人的には、基本的に他の宿泊者の方も節度を守っている方がほとんどなので、あまりこれらの点は気になりませんでした。

### 食事について

事務所の近くに、ホーカーという、日本のフードコートのような場所があるのですが、そこで食事を取ることが多かったです。お店の数がとにかく多く、シンガポールのローカルフードもたくさんあるので、ぜひ一度行ってみてください。また、マクドナルドやセブンイレブン、サイゼリヤなど馴染み深いお店も結構あるので、気分を変えたい時は寄ってみるのもいいと思います。

### 洗濯について

ホステルやホテルに洗濯機がない場合は、コインランドリーを利用することになると思います。料金は、洗濯と乾燥を合わせて1000円ほどです。ただ、シンガポールではコインランドリーが意外と少なく、一軒もないという地域もあるので宿舎を予約する際はコインランドリーが近くにあるか確認しておくといいと思います。

### 交通機関について

基本的には、MRT（地下鉄）で移動していました。乗り方は日本とあまり変わらず、シンガポール国内で流通しているEZリンクカードというICカードを改札の所定の箇所にかざすだけです。EZリンクカードはチャンギ空港近くのMRTのチケットカウンターなどで手に入ると思います。

なお、MRTを利用する際にぜひ注意していただきたい点があります。それは、駅構内および電車の中で絶対に飲食をしてはいけないということです。日本と違い、シンガポールではこれらの場所での飲食は厳格に規制されており、発見された場合には罰金が課されてしまいます。水分補給のためにペットボトルに入った水を飲むだけでも罰金が課される可能性があります。必ず、駅の外に出てから飲食をするようにしましょう。

### 休日について

私の場合、休日は、主に観光に時間を費やしていました。観光地の中で個人的なおすすめは、シンガポールの旧最高裁判所です。事務所からそれほど遠くない場所にあり、MRTを乗り継げば、簡単に行くことができます。現在、中はアートギャラリーになっており、さまざまな美術品を見ることができます。また、当時の法廷もそのまま残っており、貴重な資料も展示されていたりするので、ぜひ一度立ち寄ってみてください。

## 4 出発に向けた準備等について

### ビザの取得について

シンガポールでは、無給のインターンシップの場合、ビザを取得しなくとも1ヶ月間滞在することができます。そのため、1ヶ月未満の滞在の場合は基本的に不要だと思われます。ただ、交通機関の乱れなどから滞在が長引いてしまう可能性もあると思うので、そのような場合に備えてビザの取得をしておくと思いたいと思います。ワーホリビザという種類のビザを取得することになるかと思いますが、取得までに3週間ほどかかるので、前もって準備しておくことをお勧めします。

### パスポートの取得について

パスポートは、申請から受領までおよそ1週間とされていますが、状況によっては1週間以上かかる可能性もあるので（私は9日ほどかかりました。）、まだ取得していないという人は、こちらもお早めに取得しておくことをお勧めします。

### 航空券の取得について

私は、エアトリというサイトから予約しました。予約するのが出発日の直前になってしまったので、ほとんど席は残っていませんでしたが、運よく、関西国際空港からチャングキ空港への直行便を購入することができました。こちら予約が遅れると、値段の高い便しかなかったり、いい席が無くなったりするので、できるだけ早めに予約しておくと思いたいと思います。

### 通信手段について

私は、「世界データ定額」というアプリをインストールして、海外でも通信できるようにしていました。他の方法としては、海外用のSIMを購入したり、ポケットWi-Fiを借りるなどの手段が考えられるところですので、それぞれの値段等を比較しながら決めてもらえばと思います。

### 外貨両替について

シンガポールでは、シンガポールドルという独自の通貨を使用するので、日本にいたる間に数万円程度をシンガポールドルに両替しておく必要があります。両替は空港でもできますし、大阪駅などにも外貨両替ができる施設があるので時間のある時に両替しておいてください。

### その他の準備について

その他の持ち物については、基本的には日本国内の旅行と変わらないと思いますが、いくつかシンガポール特有の準備が必要な部分がありますので、ご紹介します。

一つ目は、変換プラグです。シンガポールでは、コンセントの差し込み口が日本の形状と異なるため、シンガポールの差し込み口に合った形状の変換プラグを事前に購入しておく必要があります。

二つ目は、必須ではありませんが、モバイルバッテリーです。長距離の移動になると思いますので、あった方が便利だと思います。

三つ目は、これも必須ではありませんが、フィルター付きのボトルです。私はブリタのフィルター付きのボトルを1800円で購入しました。持って行くの良い理由としては、シンガポールはご存知かもしれませんが物価が高く、500mLのペットボトルの水だけでも300円ほどするので、水道水を手早く濾過してくれるボトルが一本あるだけで、かなりの節約になるからです。なお、シンガポールの水道水は直接飲んでも大丈夫と言われているので、気にならない人は通常の水筒でもいいと思います。

## 5 インターンシップに要した費用

正確な数字を全て記録していたわけではないのであくまでおよその数字となりますが、インターンシップに要した費用は以下のとおりです。

- ・航空券：9万円（大学からの補助あり）
- ・宿泊代：10万円
- ・食事代：2万円
- ・観光等：1万円
- ・データ定額：1万円

## 6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

少しでも興味があるのであれば、応募してみることをお勧めします。英語力は、あるに越したことはないですが、日常会話ができる程度の英語力があれば、なんとかなると思います。私も英語はあまり堪能ではありませんが、ジェスチャーなどを用いて話せばなんとなく意味を伝えることができました。また、司法試験との関係で、在学中受験を

目指す場合、勉強時間が少なくなるとの不安があると思います。確かに、シンガポールに滞在中はあまり司法試験の勉強に時間をかけることはできず、他の人と比べて勉強時間が少なくなることは否定できません。しかし、海外でのインターンシップは他のロースクールにはあまりない貴重なプログラムであり、今後のキャリアについて考える上でも非常に有意義なものであると思います。また、このインターンに行くことで新たな分野に興味を持ったり、新たなつながりが生まれたりなど、司法試験の先の部分で役に立つことが多くあると思います。少しでも興味があればぜひ検討してもらえればと思います。

## 7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

海外インターンシップの制度を知ったのは、神大ローで同じく海外インターンに行った先輩からお話を聞いたのがきっかけでした。海外に興味があり、将来的にクロスボーダー案件を取り扱う事務所に入所したいと考えていた私は、そのお話を聞いて、一度チャレンジしてみようと思い、このインターンに応募しました。シンガポールに行くまでは、英語があまり話せないことや、そもそも海外に行くことが中学生の時以来2度目ということなどから、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、事務所の先生方や秘書の方々、研修生、事務員の方などさまざまな人と出会い、さまざまな経験をしていくうちに、そのような不安もなくなり、むしろ未知の分野や法律を勉強することや、先生方とランチやディナーに行ってお話することが楽しく、非常に充実した3週間を過ごすことができました。

また、今回のインターンでは、英文契約書や外国法のリサーチなど、他のインターンシップではできないような貴重な経験を積ませていただきました。これらの経験は今後のキャリアを考える上においても非常に有意義なものであったと思います。

最後になりますが、お忙しい中、約3週間に渡り、温かく私を迎え入れていただいたOne Asia Lawyersの皆様、渡航の手助けをしていただいた神戸大学法科大学院の先生方、教務グループの方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。